

JR烏山線の鉄道唱歌を活用した地域活性化に向けた取り組み
 ～『烏寶線鉄道唱歌』発掘から『現代版鉄道唱歌』製作までを踏まえて～

JR烏山線の『現代版鉄道唱歌』の製作に向けた取り組み②
 ～歌詞に盛り込む地域資源および文言構成の狙い～

第1・2回のワークショップの成果を踏まえ、『現代版烏山線鉄道唱歌』原案づくりにあたり、制作する唱歌の意義・性格、その持つべき基本姿勢について、従来の唱歌との比較から次のとおり決めた。近代初期に作られたこれまでの唱歌は、鉄道に実際に乗車して各地を旅することが現代に比して容易ではなかった時代の創作である。それは、経済的にもまた文化的側面からも未だ途上過程であり、鉄道網も含め交通網の整備・普及の度合いからも言える。従って、当時の唱歌の創作は、歌詞文言を目で追い口ずさみながら、実際に現地を訪れなくてもその気分を味わうことが求められたと思われる。そのため、駅を降りると何があるのか、自然も歴史も名物も、その内容の深さより、浅くても広範な色々なものを並べることが必要だったと思われる。このことは、鉄道唱歌の名称に冠された“地理教育”という文言が如実に物語っている。その結果、本邦初の『鉄道唱歌 第1集 東海道篇』では地名がかなりの割合で列挙されている（下表参照）。これに対し、今回制作する『現代版烏山線鉄道唱歌』は、“広く”“浅く”ではなく、地域の文化をより掘下げることをその主眼とした。すなわち、歴史を中心に地域固有の伝統・文化さらに自然景観を盛り込みその意味・背景等を掘下げることにより、“地理教育”に止まらず“歴史文化教育”を学ぶツールにすることをその狙いとした。鉄道唱歌の軽快なメロディに乗せ、七五調定型詩の持つリズムミカルな語感・音感の反芻が、程良い刺激として身に沁み込むことを意図した。さらに、適度に文語体を組み込むことにより、簡単明瞭な口語体表現より記憶に残ることも考慮した。1回では理解できないことも、何度か反芻し自分で調べることで一層身に沁み込むことは、これまでの経験則からも言えることである。知ることの楽しさ・その達成感、生涯の輝きになると考えている。

■これまでの唱歌と現代版における分類比率■

■鉄道唱歌第一集東海道編■

区分	件数	割合(%)
① 自然・自然的景観	47	22.8
② 歴史・歴史的景観	61	29.6
③ 建造物(教育)	0	0.0
④ 建造物(産業)	0	0.0
⑤ 建造物(交通・通信・土木)	19	9.2
⑥ 地名	69	33.5
⑦ 名物・名産・土産・伝統	10	4.9
合計	206	100

■烏寶線鉄道唱歌■

区分	件数	割合(%)
① 自然・自然的景観	11	20.4
② 歴史・歴史的景観	13	24.1
③ 建造物(教育)	3	5.6
④ 建造物(産業)	1	1.9
⑤ 建造物(交通・通信・土木)	6	11.1
⑥ 地名	19	35.2
⑦ 名物・名産・土産・伝統	1	1.9
合計	54	100.0

■『現代版烏山線鉄道唱歌』(第3校)■

区分	件数	割合(%)
① 自然・自然的景観	11	18.3
② 歴史・歴史的景観	24	40.0
③ 建造物(教育)	0	0.0
④ 建造物(産業)	0	0.0
⑤ 建造物(交通・通信・土木)	7	11.7
⑥ 地名	10	16.7
⑦ 名物・名産・土産・伝統	8	13.3
合計	60	100.0

■各駅毎に盛り込む地域資源の構成■

■現代版烏山線鉄道唱歌の創作■

《駅ごとの創作数と取り上げる地域資源/成句の検討①》

烏山駅：5～6番？

- 那珂川・やな・鮎(きれいな水/涼しさ)
- 山あげ祭・八雲神社・450年の歴史
- 烏山城・那須与一・寿龜山神社・大久保常春
- 境橋・烏山大橋(近代化遺産/橋の構造・多さ)
- 天性寺・お救い小屋・円庵和尚
- 宗溪寺・勅使門・勅額・銀杏の大樹
- 烏山高校・川俣英夫
- 烏山駅(古い駅舎/腕木信号/アキム)
- 烏山和紙・和紙の里・宮原八幡宮
- 国見のみかん・露地栽培北限・雲海

■現代版烏山線鉄道唱歌の創作■

《駅ごとの創作数と取り上げる地域資源/成句の検討②》

滝駅：2番？

- 旧戦車工場(地下空間/平和のシンボル)
- 太平寺・龍門の滝・民話

小境駅：2番？

- 荒川の流れ・荒川橋梁・森田城・那須光隆
- 森田発電所跡・トンネル・ホテルの里

■現代版烏山線鉄道唱歌の創作■

《駅ごとの創作数と取り上げる地域資源/成句の検討③》

大金駅：3番？

- 安楽寺(山門/薬師堂/薬師如来像/不動明王像)
- 大金くじら・太古・高瀬のカヤ
- 十二口・大和久古墳群・古代の生活舞台

鴻野山駅：2番？

- 長者ヶ平・官衙跡・八幡太郎義家・奥州征伐
- シモツケコウホネ

■原案から第3校までの校正過程■

『(現代版) 烏山線鉄道唱歌<からすやま篇>』(原案)

- 曙光煌めく(しよこうらめく) 烏山/腕木信号(うできしんごう) 懐かしみ 歴史刻みし駅舎から/未来を拓く(ひろく) アキムへ
- 光と戯る(たわむる) 那珂川の/ゆたかな流れ水清く 若鮎躍る水飛沫(みずしぶき) /やなに笑み交う(えみかう) 初夏の景
- 常春公が祀られし/寿龜山神社の鳥居より 七曲り(ななまがり) を経て城跡(しろあと) は/古(いにしえ) の栄え語り継ぐ
- 450(しひやくごじゅう) の季(とき) 重ね/名にし負うかな山あげの 見得切る鮎燭(みえきけるらん) 舞い姿/常磐津の音(ときわづのね) も晴れやかに
- 水面彩る(みなもいろどる) 橋の群れ/興野 烏山 境橋 姿かたちは違え(たがえ) ども/夢懸け渡す虹のごと
- 遺産となりし境橋/3連アーチも麗ら(うららかに) に 落石の緑滴り(みどりしたたり) て/紅葉(もみぢ) の頃はさらに映え
- 南に臨む(のぞむ) 下境/千年の技(わざ) 引き継ぎし 奉書 程村 和紙の里/簀子(すのこ) に躍る夢模様
- 峯の上なる国見には/たわなに弾ける(はじける) みかんあり 露地栽培の北限地/雲海の里と知られたり
- 電車はほどなく滝駅へ/轟音響く水煙(みずけむり) 大金小釜龍門は/太平寺にもほど近し
- 神長(かなが) の小高い山裾に/木漏れ日ゆれる洞(ほら) ありて 戦車造れしあとかたは/築きし平和語り継ぐ
- 小境を過ぎて荒川の/流れに渡す鉄の橋 那須光隆(なすのてるたか) 築城と/伝えし城も偲ばれる
- 高瀬のカヤを右に見て/左に見ゆる大金の 太古のロマン物語る/クジラの化石見つけた
- 眺め涼しき荒川の/豊かな恵み物語る 大和久 小河原 十二口/往古の生活(おうこのくらし) 夢のまに
- 田野倉過ぎて安楽寺/名ある古刹(こまつ) と知られけり 山門 薬師 眺めつつ/やがて向かうは鴻野山
- 陽炎(かげろう) ゆれる草の群れ/八幡太郎義家の 講(いわれ) もゆかし官衙跡(かみがあと) /長者ヶ平雲高し

『(現代版) 烏山線鉄道唱歌<からすやま篇>』(2校)

- 曙光煌めく(しよこうらめく) わが山河/歴史刻みし駅舎跡 腕木信号(うできしんごう) 常しえに/アキムが描く未来地図
- 光と戯る(たわむる) 那珂川の/ゆたかな流れ水清く 若鮎躍る水飛沫(みずしぶき) /ゆなに笑み交う(えみかう) 初夏の景
- 常春公が祀られし/寿龜山神社の鳥居より 七曲り(ななまがり) を経て城跡(しろあと) は/古(いにしえ) の栄え語り継ぐ
- 那須家菩提寺(なすけぼだいじ) 天性寺/お救い小屋で知られたる
- 450(しひやくごじゅう) の季(とき) 重ね/名にし負うかな山あげの 見得切る鮎燭(みえきけるらん) 舞い姿/常磐津の音(ときわづのね) も晴れやかに
- 水面彩る(みなもいろどる) 橋の群れ/興野 境 烏山
- 遺産となりし境橋/3連アーチも麗ら(うららかに) に 落石の緑滴り(みどりしたたり) て/紅葉(もみぢ) の頃はさらに映え
- 南に臨む(のぞむ) 下境/千年の技(わざ) 引き継ぎし 奉書 程村 和紙の里/簀子(すのこ) に躍る夢模様
- 峯の上なる国見には/たわなに弾ける(はじける) みかんあり 富士遠望の
- 電車はほどなく滝駅へ/轟音響く水煙(みずけむり) 大金小釜龍門は/太平寺にもほど近し
- 神長(かなが) の小高い山裾に/木漏れ日ゆれる洞(ほら) ありて 戦車造れしあとかたは/築きし平和語り継ぐ
- 小境を過ぎて荒川の/流れに渡す鉄の橋 那須光隆(なすのてるたか) 築城と/伝えし城も偲ばれる
- 高瀬のカヤを右に見て/左に見ゆる大金の 太古のロマン物語る/クジラの化石見つけた
- 眺め涼しき荒川の/豊かな恵み物語る 大和久 小河原 十二口/往古の生活(おうこのくらし) 夢のまに
- 田野倉過ぎて安楽寺/名ある古刹(こまつ) と知られけり 大金過ぎて¹⁾ 田野倉の里²⁾
- 陽炎(かげろう) ゆれる草の群れ/八幡太郎義家の 講(いわれ) もゆかし官衙跡(かみがあと) /長者ヶ平雲高し

『(現代版) 烏山線鉄道唱歌<からすやま篇>』(3校)

昇る朝日に煌めいて(きらめいて) /旅立ち嬉し(うれし) 烏山 /アキムが描く未来図 /踏み出す足も軽やかに

..... 橋と橋 /興野 山あげ 烏山

..... 緑滴る(みどりしたたり) /.....

田野倉の里.....